

【このプログラムについて】

このプログラムは Microsoft Excel（以下エクセル）に次の機能を追加するアドインプログラムです。

①郵便番号等の検索

選択範囲から郵便番号を検索して指定された列へ郵便番号を出力する事ができます。

又、郵便番号から住所の検索や、事業所の個別郵便番号から事業所の名称や、事業所の名称から事業所の住所（個別郵便番号のある事業所のみ）を検索する事等が可能です。

②郵便用カスタマーバーコードの作成

住所や事業所名から郵便用のカスタマーバーコードを作成する事ができます。

又、郵便料金受取人払用のカスタマーバーコードも作成する事ができます。

③差込印刷

差込する住所録の範囲を選択し、ボタンをクリックするだけで、タックシールやはがき、封筒に差込印刷をする事ができます。

併せて住所からカスタマーバーコードを作成して印字する事が可能です。

更に、画像データの編集・設定を行う事で、差込印刷と同時に「料金後納郵便」マークや事業所名等差出人、その他イラスト等もはがきや封筒に同時印刷する事も可能です。

※アドインなので、一度セットアップすれば、エクセルを開くと常に、これらの機能を利用するためのリボンメニューが画面上部に表示されます。

【特徴】

このプログラムの一番の特徴は、エクセルで作られた既存の会員名簿等から超簡単に宛名ラベルやはがき・封筒等へ差込印刷ができるという事です。

通常、エクセルで編集された住所一覧から宛名シールの作成やはがきへの差込印刷を行う場合は、ワードの差込印刷機能を利用したり、一度、「筆〇〇」等のはがき印刷ソフトに住所データを移して印刷を行う方法が一般的ですが、このプログラムがあれば、たった2ステップでカスタマーバーコード付宛名シールの作成やはがき・封筒への差込印刷が可能です。

**タックシールやはがき、封筒への
差込印刷がたったの2ステップ!!**

①住所、宛名等の入力範囲を選択して差込印刷

ボタンをクリック

②設定を確認して印刷ボタンをクリック

超簡単!!

【動作環境】

本ソフトウェアはエクセルのマクロ機能を利用して作られたエクセルのアドインです。
利用するには、マイクロソフトエクセル（Microsoft Excel 2007 以降）が必要となります。
なお、以下の環境で作成及び動作確認を行っております。

- ・ Microsoft Windows 7 (64bit) + Excel 2010 (32bit)、Excel 2013 (32bit)
- ・ Microsoft Windows 9.1 (64bit) + Excel 2013 (64bit)
- ・ Microsoft Windows 9.1 (64bit) + Excel 2016 (32bit)

【ファイル】

配布ファイルの「XLPostman.zip」を解凍すると次の4つのファイルが展開されます。

- ・「XLPostman.xlam」・・・・・・・・プログラム本体のファイルです。
- ・「ReadMe.pdf」・・・・・・・・今読んでいる説明書です。
- ・「Setup.js」・・・・・・・・セットアップするためのスクリプトファイルです。
- ・「Uninstall.js」・・・・・・・・アンインストールするためのスクリプトファイルです。

【セットアップ】

単一のエクセルアドインファイルで作成されているため、必要なファイルは「XLPostman.xlam」のみです。

手動で「XLPostman.xlam」をアドインとして設定すれば利用できますが、セットアップ用の java スクリプトを用意しています。

スクリプトの利用方法は、「XLPostman.xlam」「Setup.js」が同じフォルダに存在する状態で、「Setup.js」をダブルクリックし、「セットアップが完了しました」というメッセージが表示されれば、セットアップは完了です。

※セットアップはエクセルが起動していない状態でスクリプトを実行して下さい。

※セットアップを実行すると、必要なファイルは、自動的にアドインフォルダにコピーされますので、セットアップ後「XLPostman.xlam」「Setup.js」を削除してOKです。

【アンインストール】

このプログラムでは、必要なデータファイル・設定ファイルを作成したり、一部の設定値をレジストリへ書き込みますので、完全にアンインストールするための java スクリプトを作成しました。

スクリプトの利用方法は、「Uninstall.js」をダブルクリックするだけで、アドインの登録解除及びアドインファイルの削除を行います。

データファイルの削除及び設定値の削除については、アンインストールが完了後に確認のメッセージが表示され、「はい」をクリックする事で完全にアンインストールできます。

※アンインストール用のスクリプトはエクセルが起動していない状態で実行して下さい。

【プログラムの機能・使い方】

アドインのセットアップが完了し、アドインを有効な状態にしてエクセルを開くと、新たに「干検索&差込印刷」というリボンのタブが作成されます。

本プログラムの機能は、このリボンのメニューをクリックする事で実行します。

＜使用するための準備＞

1. マクロ機能の有効化

このプログラムは、エクセルのマクロ機能で作られているため、マクロ機能を有効にする必要があります。（エクセルの初期設定ではマクロ機能は無効になっています。）

マクロ機能を有効にするには、

- ①[ファイル] タブの[オプション] をクリックします。
- ②[セキュリティ センター] をクリックし、[セキュリティ センターの設定] を開きます。
- ③[セキュリティ センター] の [マクロの設定] から必要な選択を行い、マクロを有効にし、エクセルを一度閉じます。

※エクセルのマクロを有効にする方法（セキュリティ設定）はエクセルのバージョンによって異なりますので、詳しい設定はインターネット等でご確認下さい。

2. 郵便番号データファイルの作成

本プログラムは郵便局のホームページにある全国郵便番号データ及び事業所の個別郵便番号 CSV データからデータベースファイル（マイクロソフト アクセスで使用する拡張子が「mdb」のデータベースファイル、以下「mdb ファイル」と呼ぶ）を作成し、郵便番号等の検索機能を実装していますので、最初に mdb ファイルを作成する必要があります。

作成方法は、最初にリボンのアドインメニューのボタンをクリックした際に、データファイルを作成するか確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

インターネットに接続できる環境の場合、自動で郵便局のホームページから CSV データをダウンロードして mdb ファイルを作成する事ができます。

インターネットに接続してないパソコンで使用する場合は、インターネットに接続できる環境で郵便局のホームページから郵便番号データファイルをダウンロードして、本アドインをセットアップしたパソコンにコピーしておき、郵便番号データファイルを指定する事で mdb ファイルを作成します。

※郵便番号データファイルは郵便局のホームページからダウンロードできます。

(<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/download.html>)

必要なファイルは、全国郵便番号データと事業所の個別郵便番号データの2つです。

（読み仮名データの促音・拗音を小書きで表記するもの／しないものはどちらでも OK。

ファイル形式は zip 形式もしくは zip ファイルを展開した csv ファイル。lzh 形式は不可。

ダウンロード／解凍したファイルの名前は変更しないで下さい。）

※データファイルを作成するのに5分程度の時間がかかります。

<郵便番号等の検索機能・カスタマーバーコード作成機能>

1. 選択範囲から郵便番号を検索

- ①住所、事業所名の入力された範囲を選択します。
- ②「出力列」ダウリストから検索された郵便番号を出力する列を指定します。
- ③リボンの「選択範囲から郵便番号検索」ボタンをクリックします。
- ④指定した出力列に郵便番号が出力されます。

※事業所の個別郵便番号が存在する場合、そちらを優先しますので、事業所名の入力された列が存在する場合は住所が入力された列に加えてその列も含めて選択した状態で実行して下さい。
(1つの列に住所+事業所が入力されている場合は事業所の個別郵便番号は検索せずに通常の住所からの郵便番号のみを検索します。)

※事業所の候補が複数存在する場合は選択画面が開きますので適切な事業所を選択して下さい。
候補に適切な事業所が無い場合、キャンセルボタンをクリックする事で事業所の個別郵便番号をキャンセルし、通常の住所からの郵便番号検索を行います。

※「全国郵便番号」データから都道府県部分、市区町村部分、町域部分を判別して郵便番号を特定していますので、住所は都道府県名から正確に入力されている必要があります。
ただし、後述のローカル都道府県・市区町村が設定されている場合、ローカル都道府県・市区町村については、省略していても検索が可能です。

※住所からの郵便番号が判別できない場合は、住所選択画面が開きますので、都道府県部分、市区町村部分、町域部分を順番にそれぞれのリストから選択して下さい。

※郵便番号データの町域部分が「北六条東(1~7丁目)」・「北六条東(8~20丁目)」のように町域以降の部分によって異なる郵便番号が割り振られる場合がありますが、このような場合には、町域部分の判別が出来ませんので、住所選択画面から選択をする必要があります。

※後述の「置き換え文字の設定」や事業所の個別郵便番号から検索、都道府県名等が省略されたケース等に対応した検索(不完全な住所からの検索)を行うため、郵便番号の検索や差込印刷に時間が掛かる場合があります。

時間が掛かる場合には、後述の高速検索オプションの設定をする事により、検索方法を簡略し、スピードアップする事が可能です。

**カスタマーバーコードを印字する事で、
郵便料金が最大で30%以上割引!!**

※料金別納・後納で25gまでの郵便区内特別郵便を1000通以上送る場合の割引率。100通の場合は約24%の割引となります。

2. 郵便番号から住所を検索

- ①郵便番号の入力された範囲を選択します。（複数列にまたがる範囲の選択は不可）
- ②「出力列」ダウンリストから検索された郵便番号を出力する列を指定します。
- ③リボンの「郵便番号から住所検索」ボタンをクリックします。
- ④指定した出力列に住所が出力されます。

※入力された郵便番号が事業所の個別郵便番号の場合はその事業所の住所が出力されます。

一般の郵便番号の場合、特定できる住所は町域までなので、「都道府県＋市区町村＋町域」が出力されます。事業所の個別郵便番号の場合は、地番等まで全部出力されます。

※郵便番号データの町域部分が「以下に掲載のない場合」「北六条東（１～７丁目）」のように郵便番号を特定する条件の記述が含まれる場合は、条件の記述も含めてそのまま出力されます。

3. 事業所名から住所を検索

- ①事業所名の入力された範囲を選択します。（複数列にまたがる範囲の選択は不可）
- ②「出力列」ダウンリストから検索された住所を出力する列を指定します。
- ③リボンの「事業所名から住所検索」ボタンをクリックします。
- ④指定した出力列に住所が出力されます。

※「事業所の個別郵便番号」データから事業所を検索します。

個別郵便番号のない事業所は検索できません。

※事業所の候補が複数存在する場合は選択画面が開きますので適切な事業所を選択して下さい。

4. 郵便番号から事業所名を検索

- ①郵便番号の入力された範囲を選択します。（複数列にまたがる範囲の選択は不可）
- ②「出力列」ダウンリストから検索された事業所名を出力する列を指定します。
- ③リボンの「郵便番号から事業所名検索」ボタンをクリックします。
- ④指定した出力列に事業所名が出力されます。

※「事業所の個別郵便番号」データから事業所を検索します。

個別郵便番号のない事業所は検索できません。

5. 選択範囲からカスタマーバーコード作成

- ①住所、事業所名の入力された範囲を選択します。
- ②「出力列」ダウンリストからバーコードを出力する列を指定します。
- ③リボンの「選択範囲からバーコード作成」ボタンをクリックします。
- ④指定した出力列にオートシェイプで作成されたカスタマーバーコードが出力されます。

※カスタマーバーコードには、7桁の郵便番号（都道府県＋市区町村＋町域までを特定）の他、町域以降の丁目等の数字、地番に加え、アパートや建物の棟、階数、部屋番号を表す数字及びアルファベットもデータに含まれますので、住所列とは別に建物名やアパート名、部屋番号等が入力された列が存在する場合は、住所が入力された列に加えてその列も含めて選択した状態で実行して下さい。

※選択範囲に郵便番号がない場合は、自動で郵便番号を検索してバーコードを作成します。
選択範囲に郵便番号の入力があり、かつ住所又は事業所から検索される郵便番号と異なる場合は、住所から検索される郵便番号が優先されます。

※事業所の個別郵便番号が存在する場合、そちらを優先しますので、事業所名の入力された列が存在する場合は住所が入力された列に加えてその列も含めて選択した状態で実行して下さい。
（事業所の個別郵便番号が存在する場合は、郵便番号のみでバーコードを作成します。1つの列に住所＋事業所が入力されている場合は住所から検索された郵便番号を元にバーコードを作成します。なお、この場合、事業所名にアルファベットや数字が含まれるとバーコードデータの一部になってしまいますので、バーコードの作成を行う場合、な事業所はるべく別の列に入力するようにして下さい。）

※事業所の候補が複数存在する場合は選択画面が開きますので適切な事業所を選択して下さい。

※郵便番号データの町域部分が「北六条東（1～7丁目）」のように町域以下の部分に条件があるケースで、例えば「4丁目123番地」という住所からバーコードの作成をする場合、町域選択フォームから、1～7丁目を選択した上で、町域以下の欄を「4丁目123番地」としておく必要があります。（郵便番号は「4丁目」を特定しないので、バーコードには「4丁目」を表すデータが必要があるため、「4丁目」部分は削除しないで下さい。）

※カスタマーバーコードの印字にはサイズの指定がありますので、この機能で作成されたカスタマーバーコードはサイズの変更をせず、印字倍率100%で印字して下さい。

※同時に発送する通数が多い場合には、カスタマーバーコードを印字する事で郵便料金割引を受ける事ができる場合があります。

6. 料金受取人払用カスタマーバーコードの作成

料金受取人払を利用する際に印字するカスタマーバーコードを作成します。

メッセージに従い、料金受取人払承認書に記載された郵便番号と整理番号を入力すると現在選択されているセルにカスタマーバーコードが出力されます。

（料金受取人払を利用するためには、事前に郵便局への申請及び承認が必要です。）

7. 高速検索オプション（Ver4.4より追加機能）

バージョン4.4より郵便番号検索や差込印刷の処理速度を上げるための、以下のオプションをリボンメニューに追加しました。

①「事業所名からの郵便番号検索を行わない」

郵便番号検索や差込機能では、選択範囲のデータから住所データや事業所名データの自動判別を行い、事業所名と思われるデータが存在する場合は、最初に事業所の個別郵便番号を検索しています。

選択範囲に「事業所の個別郵便番号を持つ事業所」が存在しない事が確認できている場合には、このチェックボックスにチェックを入れ、事業所の個別郵便番号検索をキャンセルする事で、郵便番号検索や差込印刷の速度を上げる事ができます。（住所からの郵便番号検索を行います。）

②「ローカル都道府県・市区町村のみ検索」

選択範囲の住所データがローカル都道府県に設定された範囲内の住所のみの場合は、このチェックボックスにチェックを入れる事で郵便番号検索や差込印刷の速度を上げる事ができます。ローカル都道府県及びローカル市区町村のデータ（宛先）については、当道府県名を省略し、市区町村名から住所が入力してある場合でも検索可能です。

（宛先がローカル市区町村の場合は、都道府県名、市区町村名の両方を省略し、町域名からの入力データに対しても郵便番号検索等ができます。）

選択範囲のデータの中に、ローカル都道府県以外の住所が含まれている場合には、自動での住所判別ができませんので、住所選択画面から選択するようになります。

（ローカル都道府県・市区町村は、設定画面から選択する事ができます。）

③「不完全な住所からも検索を行う」

住所は通常、「都道府県名」+「市区町村名」+「町域名」+「地番」の形式で入力されている事を前提として、住所の判別を行い郵便番号等の検索を実行していますが、このチェックボックスにチェックを入れる事で「都道府県名」が省略されていたり、政令指定都市の「区名」が省略されている場合であっても、住所を判別して郵便番号等の検索を行う事ができます。

逆にこのチェックを外す事で、一部が省略されて入力された住所の判別精度は落ちますが、郵便番号検索や差込印刷の実行速度を早くする事ができます。

（ローカル都道府県名、ローカル市区町村名については、省略して入力していても、判別精度、実行速度は落ちません。）

選択範囲のデータの中に、都道府県名の省略されたローカル都道府県以外の住所等が含まれている場合には自動での住所判別ができませんので、住所選択画面から選択するようになります。

ー 郵便番号等検索機能の流れ ー

① 郵便番号を検索する入力範囲を選択

郵便番号から住所検索
事業所名から住所検索
郵便番号から事業所名検索
各種検索・カスタムバーコード作成

選択範囲から郵便番号検索

出力列 A列

タックシール A 4 12面
はがき
長形3封筒
差込印刷

② 出力列を指定

③ 検索ボタンをクリック

〇〇運営委員会 役員名簿

郵便番号	住所1	住所2	氏名
	札幌市中央区南四条西29丁目1524-23	第2郵便ハウス501	湯川 秀樹
	北海道札幌市東区北六条東8丁目		大山 信達
			横山 やすし
		築地本願寺	林家 三平
		フランス大使館	本田 宗一郎
	東京都台東区台東5-6-3 ABOビル10F		金子 みずゐ
	新宿区新宿5丁目1-1	東京医科大学	松下 幸之助
	東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号	郵便タワー601	沢村 栄治
	神奈川県横浜市中区日本大通1	神奈川県庁	円谷 英二
	千葉県稲毛区緑町3丁目30-8	郵便ビル403号	松田 優作
	千葉県我孫子市我孫子1858	我孫子市役所	手塚 治虫
	鎌倉市右京塚 東3丁目-20-5	A&bコーポB604号	野口 英世
	茨城県日立市宮田町6丁目7-14	ABOビル2F	諸葛 孔明
	山梨県韮崎市龍岡町下條南割 韮崎400		岡本 太郎
	大阪府堺市堺区中田出井町四丁六番十九号		野口 英世
	京都府綾部市青野町綾部6-7	LプラザB106	黒澤 明
	神戸市港島中町9丁目7-6		坂本 九

④ 指定した列に検索結果が出力

郵便番号	住所1	住所2	氏名
064-0804	札幌市中央区南四条西29丁目1524-23	第2郵便ハウス501	湯川 秀樹
065-0006	北海道札幌市東区北六条東8丁目		大山 信達
080-0831	北海道帯広市稲田町南七線 西28		横山 やすし
104-8435	東京都中央区築地3丁目15-1	築地本願寺	林家 三平
106-8514	東京都港区南麻布4丁目11-44	フランス大使館	本田 宗一郎
110-0016	東京都台東区台東5-6-3 ABOビル10F		金子 みずゐ
160-8402	新宿区新宿5丁目1-1	東京医科大学	松下 幸之助
198-0036	東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号	郵便タワー601	沢村 栄治
231-8588	神奈川県横浜市中区日本大通1	神奈川県庁	円谷 英二
263-0023	千葉県稲毛区緑町3丁目30-8	郵便ビル403号	松田 優作
270-1192	千葉県我孫子市我孫子1858	我孫子市役所	手塚 治虫
	鎌倉市右京塚 東3丁目-20-5	A&bコーポB604号	野口 英世
	茨城県日立市宮田町6丁目7-14	ABOビル2F	諸葛 孔明
	山梨県韮崎市龍岡町下條南割 韮崎400		岡本 太郎
	大阪府堺市堺区中田出井町四丁六番十九号		野口 英世
	京都府綾部市青野町綾部6-7	LプラザB106	黒澤 明
	神戸市港島中町9丁目7-6		坂本 九

<差込印刷機能>

1. タックシール（A 4 12面）印刷機能

- ①差込印刷のできる項目は「郵便番号」、「住所1」、「住所2」（建物名・アパート名等）、「会社・所属」（事業所名等）、「氏名」、「敬称」、「備考番号」の7項目です。

差込印刷する項目の入力された範囲を選択して「タックシールA 4 12面」をクリックします。

- ②印刷する用紙の様式・方向については、タックシールの場合は「通常」のみです。

- ③選択された範囲から各列が何の列か自動判別して差込データ列の設定のダウリストに表示されるので、各データ列が正しいか確認し、誤りがあれば訂正します。

印刷の必要がない項目があれば、列に「－」をセットします。

敬称については、リストから敬称を選択（全ての宛先に同じ敬称を用いる場合）するか、別に敬称を入力した列が存在する場合はその列を指定（宛先ごとに敬称を指定する場合）します。

既に氏名列のデータに敬称が付いている場合等、敬称を付けない場合は「－」を選択します。

備考番号については、印刷時にタックシールの隅に任意の番号（又は文字列）を印字するものです。

備考番号として印字したい内容の入力列があればその列を指定します。

備考番号の入力された列が無い場合でも、「自動」に設定する事で1から連番を附番して印刷する事が可能です。

- ④印刷オプションの設定をします。設定可能な項目は以下のとおりです。

- ・郵便番号が未入力の場合は自動検索

郵便番号列が無い場合でも、自動で郵便番号を検索して印字します。

- ・ローカル都道府県は都道府県名を省略

後述のローカル都道府県を設定した状態でチェックするとローカル都道府県の都道府県名は印字が省略され市区町村名から住所を印字します。

- ・郵便バーコードを作成して印刷

カスタマーバーコードを自動作成して印字します。

- ・宛名の文字間を自動調整

宛名の文字数に応じて文字間を調整します。

- ・郵便番号のスタイル

先頭に「〒」を付けるか、全角／半角等の印字スタイルを選択します。

- ・イメージを印刷（イメージA～C）

設定されたイメージを印刷します。

（詳細は後述の「印刷設定ファイルの編集」の「イメージの挿入」を参照）

⑤印刷の方法は印刷用のワークシートを作成して印刷する方法と、シールの欠損を指定して印刷する方法があります。

「印刷用ワークシートを作成して印刷」をクリックした場合、全てのデータを差込した印刷用のワークシートを作成し、印刷プレビューを表示します。

タックシールをプリンタの手差しトレイ等で印刷する場合は、プリンタの給紙装置を変更する必要がありますので、プレビュー画面の「印刷設定」→「オプション」を開き、タックシールをセットする給紙装置を設定する必要があります。

印刷を実行する場合は、印刷ボタンをクリックして印刷します。

プレビューを閉じた後、印刷用のワークシートを削除せず保存しておく事も可能です。

ただし、印刷用のワークシートを作成する場合、シールの欠損部分（既に使用済みの箇所）の指定はできません。

「シールの欠損を指定して印刷」のボタンをクリックすると、シールの欠損部分を指定して印刷する事ができます。その場合は、シールの指定画面が開くので、使用済みのシール部分をクリックして「EMPTY」に変更します。（再度クリックする事で元に戻ります。）

指定が終わったら、「印刷」ボタンを押すと1枚目が印刷されます。

次ページ以降を印刷するタックシールに欠損部分が無い場合は、「次ページ以降は指定しない」にチェックを入れる事で、次ページ以降を連続で印刷します。

次ページも欠損部分の指定をする場合は、このチェックを外しておくで、2枚目以降の印刷時も1枚目と同様にタックシール用紙の欠損部分が指定できます。

タックシールの給紙トレイを変更する場合は、シールの指定画面から設定ボタンを押してプリンタの設定を開き、手動で給紙トレイを変更する必要があります。

※タックシールの印刷様式では、「住所1」「住所2」「会社・所属」の3項目を出力する行が、2行しかありませんので、「住所1」「住所2」「会社・所属」の3つの項目全てに入力がある場合は、1行目の部分に「住所1」＋「住所2」を、2行目の部分に「会社・所属」を出力し、「住所2」「会社・所属」のいずれかにのみに入力がある場合は、1行目に「住所1」を、2行目に「住所2」又は「会社・所属」を出力します。

※「備考番号」の印字位置は、バーコードの印刷を設定した場合と設定しない場合で異なります。バーコードの印刷を設定した場合は、郵便番号と同じ行の右隅に備考番号が印刷されます。バーコードの印刷を設定しない場合は、一番下の行（バーコードの印刷行）の右隅に印字されます。

EMPTY	EMPTY
EMPTY	4
5	6
7	8
9	10
11	12

一部使用済みのシートも、
使用済み部分をクリックして
「EMPTY」にすることで無駄
なく使用することができます。

2. はがき印刷機能

- ①差込印刷のできる項目は「郵便番号」、「住所1」、「住所2」（建物名・アパート名等）、「会社・所属」（事業所名等）、「氏名」、「敬称」、「備考番号」の7項目です。
差込印刷する項目の入力された範囲を選択して「はがき」をクリックします。
- ②印刷する用紙の様式・方向については、「官製葉書」と「年賀葉書」が選択できます。
印字方向はどちらも縦書きになります。
(年賀はがきは、印字範囲がお年玉抽選番号等の印刷に重ならない様に調整してあります。)
- ③選択された範囲から各列が何の列か自動判別して差込データ列の設定のダウンリストに表示されるので、各データ列が正しいか確認し、誤りがあれば訂正します。
- ④印刷オプションの設定をします。設定可能な項目は以下のとおりです。
- ・郵便番号が未入力の場合は自動検索
 - ・ローカル都道府県は都道府県名を省略
 - ・郵便バーコードを作成して印刷
 - ・住所に含まれる算用数字を漢数字に変換
はがきの様式は縦書きなので、地番等の算用数字を漢数字に変換する機能です。
 - ・郵便番号枠を印字
チェックを付けると郵便番号枠も印字します。
 - ・差出人を印字
設定メニューから登録した差出人の住所1、住所2（又は所属）、氏名、郵便番号を印字します。
 - ・イメージを印刷（イメージA～C、及びイメージSW）
(詳細は後述の「印刷設定ファイルの編集」の「イメージの挿入」を参照)
- ⑤印刷の方法は印刷用のワークシートを作成して印刷する方法と、直接印刷する方法があります。
ワークシートを作成して印刷する方法はタックシールと同じです。
直接印刷の場合は、プレビュー表示をせずに直接印刷を開始します。

印刷する用紙を「年賀葉書」に設定すると年賀はがきやかもめ～るのくじ番号プリント部分に宛名やバーコードの印刷が重ならないような印刷レイアウトになります。

3. 封筒（長形3号）印刷機能

①差込印刷のできる項目は「郵便番号」、「住所1」、「住所2」（建物名・アパート名等）、
「会社・所属」（事業所名等）、「氏名」、「敬称」、「備考番号」の7項目です。

差込印刷する項目の入力された範囲を選択して「長形3号封筒」をクリックします。

②印刷する用紙の様式・方向については、「縦置き」、「横置き・右開封」、「横置き・左開封」が
選択できます。

③選択された範囲から各列が何の列か自動判別して差込データ列の設定のダウンリストに表示
されるので、各データ列が正しいか確認し、誤りがあれば訂正します。

④印刷オプションの設定をします。設定可能な項目は以下のとおりです。

- ・郵便番号が未入力の場合は自動検索
- ・ローカル都道府県は都道府県名を省略
- ・郵便バーコードを作成して印刷
- ・郵便番号枠を印字
- ・住所に含まれる算用数字を漢数字に変換（縦置のみ）
- ・宛名の文字間を自動調整（横置のみ）
- ・住所・氏名欄にアンダーラインを入れる（横置のみ）

住所・氏名欄の下にアンダーラインを印刷します。

- ・イメージを印刷（イメージA～C、及びイメージSW）

（詳細は後述の「印刷設定ファイルの編集」の「イメージの挿入」を参照）

⑤印刷の方法は印刷用のワークシートを作成して印刷する方法と、直接印刷する方法があります。

ワークシートを作成して印刷する方法はタックシールと同じです。

直接印刷の場合は、プレビュー表示をせずに直接印刷を開始します。

差出人欄のイメージファイルを作成し、差込印刷時に挿入
する事で、市販の封筒に自社封筒の体裁を同時印刷する事が
可能になり、自社封筒の作成が不要になります。

**※詳しくは「イメージファイル挿入の活用」の
ページをお読みください。**

4. 差込印刷について（各様式共通）

- ・カスタマーバーコードはエクセルのオートシェイプで作成しています。
差込するレコード数が多い場合、オートシェイプの数が膨大になるため、時間がかかります。
データが多い場合は「印刷用ワークシートを作成して印刷」よりも、「直接印刷」の方が高速で印刷する事ができます。（タックシールの場合は「シールの欠損を指定して印刷」）

- ・バーコードデータの作成は「住所 1」列＋「住所 2」列に入力された内容から作成します。
又、事業所の個別の郵便番号は、「会社・所属」列に入力された内容から検索を行いますので、建物・アパート名等と会社・事業所名等が同じ列に混在して入力されている場合には、データ列の設定をする際に注意が必要です。

※混在している列を「住所 2」列に指定すると、事業所の個別郵便番号が検索されません。

「会社・所属」列に指定するとバーコードデータに建物の記号・部屋番号のデータが欠落してしまい、正しいカスタマーバーコードが作成されない場合がありますので、事業所の個別郵便番号が設定されているような事業所が入力されている場合は、列を分けてから差込印刷を実行して下さい。

※横書きの様式では、「住所 2」列に入力されたデータはセル内右寄せ、「会社・所属」列に入力されたデータは左寄せ＋インデントで印字されます。

- ・ 1 つの列に住所と会社や事業所名が入力されている場合、事業所の個別郵便番号を検索する事ができませんので、事業所の個別郵便番号が設定されているような事業所が入力されている場合は、会社や事業所名の部分を別の列に分けてから差込印刷を実行して下さい。
- ・ 同一差出人から形状、重量および取り扱いが同一のものを同時に 1,000 通以上（郵便区内特別郵便物は 100 通以上）差し出されたものにカスタマーバーコードを印字する事で、郵便料金の割引を受ける事ができます。

（同一差出人から形状、重量および取り扱いが同一の郵便区内特別郵便物 25g までを 100 通以上送る場合、通常 82 円が 69 円に、1000 通以上送る場合は、56 円に割引される等）

ただし、カスタマーバーコードの印字位置や、印字品質等の指定がありますので、詳しくは郵便局のホームページでご確認下さい。

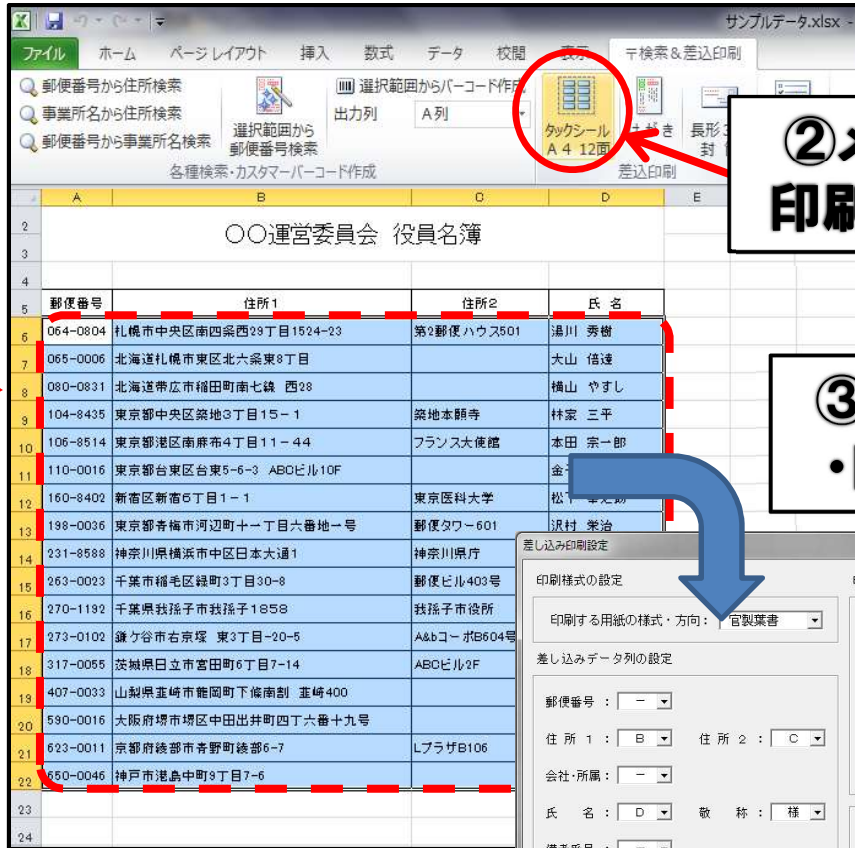
- ・ エクセルファイルの標準形式が「xlsx」の環境で、拡張子が「xls」のファイルを開いて差込印刷を行うと、「印字がずれる」「1 ページに収まらなくなる」等の不具合が発生するため、拡張子が「xls」のファイルの差込印刷を行う場合には、新規の「xlsx」形式のワークブックが作成され、新規ワークブック内に印刷用のワークシートが作成されます。

※xls 形式で作成したワークブックを後に xlsx 形式に変更して保存した場合、同様の印刷ずれが発生する場合があります。

印刷ずれが発生する場合は、一度、差込データを新規ワークブックにコピーして、差込印刷を実行して下さい。

— 差込印刷の流れ —

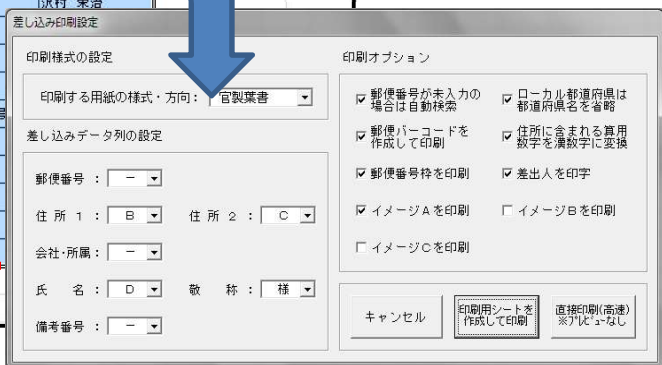
① 差込するデータの入力範囲を選択



郵便番号	住所1	住所2	氏名
064-0804	札幌市中央区南四条西29丁目1524-23	第2郵便ハウス501	湯川 秀樹
065-0006	北海道札幌市東区北六条東8丁目		大山 信達
080-0831	北海道帯広市稲田町南七線 西28		横山 やすし
104-8435	東京都中央区築地3丁目15-1	築地本願寺	林家 三平
106-8514	東京都港区南麻布4丁目11-44	フランス大使館	本田 宗一郎
110-0016	東京都台東区台東5-6-3	ABOビル10F	金子 ます子
160-8402	新宿区新宿5丁目1-1	東京医科大学	松下 幸之助
198-0036	東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号	郵便タワ-601	沢村 栄治
231-8588	神奈川県横浜市中区日本大通1	神奈川県庁	
263-0023	千葉県稲毛区経町3丁目30-8	郵便ビル403号	
270-1192	千葉県我孫子市我孫子1858	我孫子市役所	
273-0102	鎌倉市古京塚 東3丁目-20-5	A&BコーポB604号	
317-0056	茨城県日立市宮田町6丁目7-14	ABOビル2F	
407-0033	山梨県北斐市龍岡町下條南割 荻崎400		
590-0016	大阪府堺市堺区中田出井町四丁六番十九号		
623-0011	京都府綾部市青野町綾部6-7	LプラザB106	
650-0046	神戸市港島中町3丁目7-6		

② メニューから差込印刷ボタンをクリック

③ 差込列の確認・印刷設定の確認



差し込み印刷設定

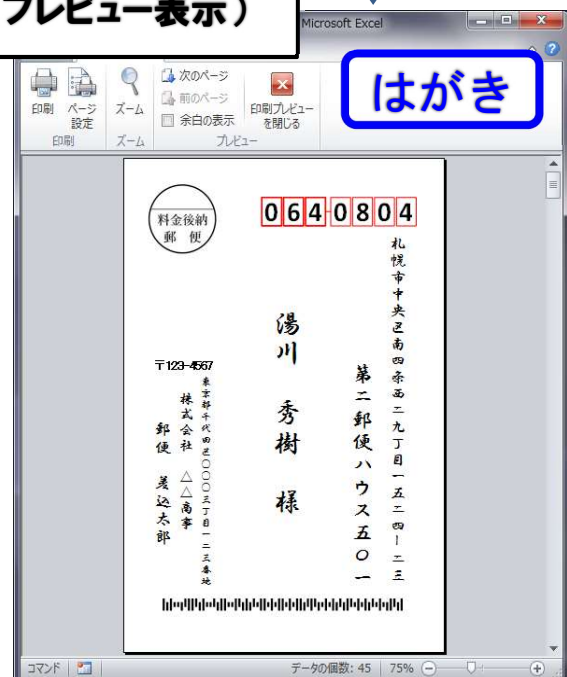
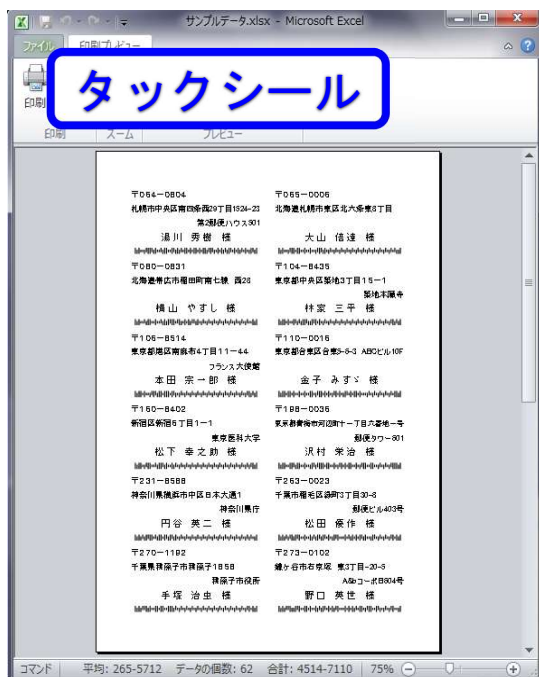
印刷様式の設定
印刷する用紙の様式・方向: 官製葉書

差し込みデータ列の設定
郵便番号: [選択] 住所1: [B] 住所2: [C] 会社・所属: [選択] 氏名: [D] 敬称: [様]

印刷オプション
☒ 郵便番号が未入力の場合は自動検索 ☒ ローカル都道府県は都道府県名を省略
☒ 郵便バーコードを作成して印刷 ☒ 住所に含まれる専用数字を漢数字に変換
☒ 郵便番号枠を印刷 ☒ 差出人を印字
☒ イメージAを印刷 ☐ イメージBを印刷
☐ イメージCを印刷

キャンセル 印刷用シートを作成して印刷 直接印刷(高速) ※アドビ®なし

④ 差込印刷 (プレビュー表示)



＜各種設定＞

1. 郵便番号データ更新

インターネットに接続し、郵便局のホームページに現在使用中のデータよりも新しい郵便番号データが存在するか確認します。

新しいデータが存在する場合は、データ更新ボタンをクリックする事で、全国郵便番号データ又は事業所の個別郵便番号データをアップデートする事ができます。

現在使用中のデータが既に最新のデータの場合は、アップデートできません。

使用しているパソコンがインターネットに接続していない場合は、郵便局ホームページからダウンロードできる郵便番号データファイルを用意し、直接データファイルを指定して開く事でデータの更新をする事ができます。(zip 形式もしくは展開後の csv ファイル)

2. ローカル都道府県・市区町村設定

お住まいの地域や事業所の所在地等、使用頻度の高い都道府県・市区町村を「ローカル都道府県・市区町村」に登録できます。

ローカル都道府県・市区町村を設定すると、以下の事が可能となります。

- ・ 設定地域内の郵便番号検索等が高速化されます。
- ・ 設定された都道府県名・市区町村名を省略して住所が入力されていても郵便番号検索等が可能となります。
- ・ ローカル都道府県については、印字の際、宛名の都道府県名部分を省略して市区町村名からの宛先を印刷する事が可能となります。

3. 置き換え文字の設定

よく使用する住所に『2種類の表記が用いられる漢字』が含まれる場合に、その2種類の漢字を置き換え文字リストに登録しておく事で、どちらの表記の漢字が使用されていても、郵便番号の検索等が可能になります。

例えば、置き換え文字リストに『ヶ』と『ケ』を登録しておく事で『千駄ヶ谷』が『千駄ケ谷』と入力されていても検索可能となり同時に『霞ヶ丘町』が『霞ケ丘町』と入力されていても検索が可能となります。

(郵便局の郵便番号データではそれぞれ『千駄ヶ谷』、『霞ヶ丘町』で登録されています。)

『龍』と『竜』といった省略体等を登録してご利用下さい。

又、応用として市町村合併により町が市になった場合に合併前の『〇〇町』と合併後『××市』のペアを登録することで、合併前の住所からも郵便番号等の検索が可能となります。

(ただし、この方法は合併後も町域名が同じである場合にのみ有効です。)

4. 差出人の編集

はがき印刷の際に差出人欄に印刷可能な差出人データを編集する事ができます。

編集項目は郵便番号、住所 1、住所 2（又は事業所名・所属等）、宛名の 4 項目です。

登録できる差出人は 1 つのみです。はがき以外の封筒印刷では、差出人の印刷はできません。

（差出人の住所や名称、連絡先を表示したイメージファイルを作成し、イメージの印刷機能で対応して下さい。）

5. 印刷設定ファイルの編集について

印刷設定の編集は直接メモ帳等でファイルを直接開いて編集する仕様になっています。

設定メニューのこのボタンは、印刷設定ファイルの編集についての説明を表示するだけです。

又、編集方法の説明画面表示のあと、印刷設定ファイルの存在するフォルダを開くことができます。

なお、実際に設定を編集する方法については、次項の「印刷設定ファイルの編集について」を参照して下さい。

6. カスタマーバーコード印刷倍率の設定について

タックシールへの差込印刷の際、カスタマーバーコードがシールからはみ出してしまう場合は、このメニューから印刷倍率の変更を行ってください。

（カスタマーバーコードの印字が指定サイズの範囲に収まるよう調整して下さい。）

7. バージョン情報について

インターネットに接続し、本プログラムの最新バージョンが存在するか確認します。

最新のバージョンが存在する場合は、ボタンをクリックしてアップデートする事ができます。

8. レジスト解除について

ライセンスキーの入力画面を表示します。

正しいライセンスキーを入力すると試用制限が無くなります。

9. ヒント画面の表示について

「ヒント画面を表示する」にチェックを入れておくと、各機能を利用する際に、機能の説明や使用の注意等の記述されたヒント画面を表示します。

設定メニューの「ヒント画面を表示する」チェックを外すと、ヒント画面の表示機能を停止する事ができます。

又、各ヒント画面のチェックを外す事でも、ヒント画面の表示機能を停止する事ができます。

＜印刷設定ファイルの編集について＞

各テンプレートに差込印刷を行う際のフォントや文字サイズ、印字位置等の設定については、アドインフォルダのサブフォルダ「ZipCodeData」に設定用ファイル（ini ファイル）が作成され、その設定ファイルを編集する事で変更する事が可能です。（メモ帳等で開いて編集して下さい。）各項目の記述内容・単位、及び印刷位置の調整方法、イメージファイルの印字方法については、次の通りになります。

1. 印刷設定ファイルの設定内容・単位

①印刷シート名・・・印刷用ワークシートを作成する際の名称、任意の名称

②用紙サイズ・・・用紙サイズを指定する定数。用紙設定が正しい場合は修正不要

③用紙方向・・・1：縦置き、2：横置き

④用紙余白・・・cmで指定（小数点第1位まで）

⑤各行の高さ・・・ポイント（行見出しの間をクリックすると表示される数値。）

⑥各列の幅・・・文字数（列見出しの間をクリックすると表示される数値）

⑦各出力セルの文字フォント・文字サイズ・・・出力する文字のフォント名・文字のサイズ

※各セルは、「縮小して全体を表示する」に設定済のため、指定した文字サイズが大きすぎる場合は自動調整されます。

⑧郵便番号枠印字位置・バーコード印字位置（はがき・封筒のみ）

・・・郵便番号枠・バーコードを印字する位置をポイントで記述（X座標&Y座標）

※印字位置は、デフォルト位置からの調整をポイント単位で指定、マイナス指定も可能

⑨イメージファイル・・・イメージファイルのファイル名

※ファイル名（+拡張子）はフルパスで記述するか、設定ファイルと同じフォルダ（「設定」→「印刷ファイルの設定について」から開けるサブフォルダ「ZipCodeData」）に置いてファイル名（+拡張子）のみを記述

⑩イメージファイルの名前・・・印刷設定ダイアログのチェックボックスに表示する名前です。

⑪イメージファイルの位置・・・イメージファイルを張り付けるXY座標をポイント単位で指定（ページ左上からの座標）

⑫イメージファイルの倍率（%）・・・イメージファイルを張り付ける際の倍率

※イメージはA、B、C、SWの4つが登録できます。差出人欄等の画像を作成してご利用下さい。

※イメージSWは郵便区内／郵便区外にそれぞれのイメージを登録し、宛先がローカル設定された市区町村か否かで差込するイメージを切り替える事ができます。

（「郵便区内特別」マークを想定しています。郵便区＝市区町村である必要があります。）

2. 印刷位置の調整について

お使いのプリンタによって、差込印刷の際に印刷が1ページに収まらない場合や差込データの印字がタックシールとずれてしまう場合があります。

以下、印字位置を調整する方法をタックシールの場合を例に説明します。

- ① 適当なデータでタックシールの差込印刷（印刷用シートを作成して印刷）を行います。
- ② プレビュー画面を閉じます。
「印刷用ワークシートを削除しますか？」と表示されるので「いいえ」をクリックします。
- ③ 「A4-12面タック印刷用」シートを開き、各データの印字がそれぞれのタックシール内にずれないで収まり、且つ12面全てが1ページに収まるように各行の高さ、各列の幅を調整します。
（罫線を引いてテスト印字しながら調整して下さい。1ページの行数・列数は変更できません。
印刷用紙の余白サイズも変更できます。ただし印字倍率は変更しないで下さい。）
- ④ 各行の高さ、各列の幅、印刷用紙余白が決定したら「設定」→「印刷ファイルの設定について」からサブフォルダ「ZipCodeData」を開き、「タックシール.ini」をメモ帳等で開きます。
- ⑤ 「タックシール.ini」の「各行の高さ」、「各列の幅」、「印刷用紙余白」の項目を③で調整した印刷用ワークシートの各行の高さ、各列の幅、印刷用紙余白に書き換えて上書き保存します。
※各行間、列間にマウスカーソルを合わせた際に表示される数値を入力して下さい。
- ⑥ 次回の印刷より、書き換えた数値で印刷用ワークシートが作成されます。

3. イメージの挿入について

料金後納マークや封筒に印刷する差出人欄等をイメージで作成して挿入する事が可能です。

- ① 挿入するイメージファイル（bmp、jpg等の画像ファイル）を作成します。
- ② 「設定」→「印刷ファイルの設定について」からサブフォルダ「ZipCodeData」を開き、挿入したい様式の印刷設定ファイル（〇〇.ini）をメモ帳等で開きます。
- ③ 印刷設定ファイルの「イメージ〇のファイル」（イメージA～Cのいずれか）の項目に①で作成したファイル名を入力して上書き保存します。
（ファイル名の記述方法は「1. 印刷設定ファイルの設定内容・単位」を参照）
- ④ 設定した様式の差込印刷を行う際に、「イメージ〇を印刷」（〇は印刷設定ファイルで指定したA～C、SW）にチェックを入れて実行すると設定されたイメージファイルが挿入されます。
- ⑤ イメージファイルの挿入位置、印字倍率については、設定ファイルの「イメージ〇の位置」、「イメージ〇の倍率」欄で編集可能なので、試行しながら設定を行ってください。

※イメージSW（スイッチャブル）は、宛先が設定されたローカル市区町村の内／外かを判別し、差込するイメージを切り替えて印字します。（（「郵便区内特別」マークを想定しています。郵便区＝市区町村である必要があります。）

iniファイル内のイメージSWの郵便区内、区外それぞれのファイルを記述して利用します。

ー イメージファイル挿入の活用 ー

差出人の住所・連絡先やロゴの記されたイメージファイルを作成し、差込印刷の際にそのイメージファイルを挿入する事で、市販の封筒に自社封筒の体裁を同時印刷することができます。
(予め自社封筒を印刷しておく必要がなくなります。)

**自社封筒の印刷
費用をカット!!**

①「料金後納」の記号や
「郵便区内特別」の
文字等の画像データ

〇〇県△△市××1234-56

(株)〇〇製作所総務部

松木 安太郎 様

××県□□市1234番地
(株)◇◇商事
電話 XXXX-XX-XXXX

料金後納
郵便

②差出人欄(社名、住所、連絡先、ロゴ)
や企業のPR等を編集した画像データ

**差込印刷と同時に
自社封筒の体裁を印刷**

複数の組織・部署等の差出人欄イメージを作成しておき、
チェックボックスで印刷する封筒を切り替える事も可能!

××県□□市1234番地
(株)◇◇商事 営業部
電話 XXXX-XX-XXXX



××県□□市1234番地
(株)◇◇商事 人事課
電話 XXXX-00-0000

【更新履歴（Ver4.4～）】

＜バージョン 4.5 からの機能＞

64 ビット版のエクセルに対応しました。

＜バージョン 4.6 からの追加機能＞

差込イメージを従来の A～Cに加え、宛先がローカル市区町村に設定された市区町村の内／外かを判別し、差込するイメージを切り替えるイメージ SW（スイッチャブル）を追加しました。
ini ファイル内のイメージ SW の郵便区内、区外それぞれのファイルを記述して利用します。

※「郵便区内特別」文字を印刷する／しないを想定しています。

（ただし、この機能は郵便区＝市区町村の場合にのみ利用可能となります。）

＜バージョン 4.7 からの仕様変更＞

エクセルファイルの標準形式が「xlsx」の環境で、拡張子が「xls」のファイルを開いて差込印刷を行うと、「印字がずれる」「1 ページに収まらなくなる」等の不具合が発生するため、拡張子が「xls」のファイルの差込印刷を行う場合には、新規の「xlsx」形式のワークブックが作成され、新規ワークブック内に印刷用のワークシートが作成するよう仕様変更をしました。

※xls 形式で作成したワークブックを後にxlsx 形式に変更して保存した場合、同様の印刷ずれが発生する場合があります。

印刷ずれが発生する場合は、一度、差込データを新規ワークブックにコピーして、差込印刷を実行して下さい。

＜バージョン 4.8 からの追加機能＞

リボンメニューに「料金受取人払用バーコード作成」を追加しました。

料金受取人払の申請を行い、郵便物を作成する際には、指定された郵便番号及び整理番号よりバーコードを作成し、印字する必要があります。

このメニューでは、郵便番号及び整理番号を入力することで、料金受取人払用のバーコードを作成する事ができます。

＜バージョン 4.9 の修正点＞

環境が Windows10 + Excel2013・Excel2016 になると、印字のサイズが微妙に変わってしまう事により、カスタマーバーコードの印字がタックシールからはみ出してしまうたり、郵便番号の印字が郵便番号枠から微妙にずれてしまう事象が発生するため、新たに PrintConfig.ini を設け、カスタマーバーコードのサイズ、郵便番号枠のサイズ（番号の印字間隔）を調整できるように修正しました。

【著作権】

本プログラムの著作権は、製作者の number14 が保持しています。

【使用条件】

プログラムのプロテクト解除及びプログラムの改変をしてはなりません。

使用条件及び著作権表示の一部又はすべてを削除してはなりません。

【免責事項】

本プログラムによって生じるいかなる不具合やトラブル、損害の責任を負いかねますので、自己責任でのご利用をお願いします。ご使用の際はこの事を承諾した上でご使用下さい。

【試用について】

試用の場合、期間の制限はありませんが、使用回数が1日5回までとなります。

又、一度に処理できるレコード数が5個までとなっています。（選択できる範囲が5行まで）

【ライセンスキーの入手について】

ベクターのシェアレジをご利用下さい。

レジ作品番号：SR346820 本体価格：1,200 円（税別）

※現金書留、銀行振り込み等には対応しておりません。

※誤って購入された場合や使用環境等の問題でご使用になれない場合等の返金には一切対応しませんので、ご利用の環境で動作する事を確認した上でライセンスキーをご購入下さい。

【サポートなど】

ご質問、不明な点等はメールをいただければお応えするようにしています。

バグや要望などありましたらメール（number14@yahoo.co.jp）にてご連絡下さい。

【転載・雑誌収録について】

メールにて事前にご連絡下さい。